

Eureka III

六年制通信 No. 29 平成 28 年 3 月 1 (火) 号

卒業記念号

本日三重高等学校の第 53 回卒業証書授与式が挙行され、580 名の生徒が卒業しました。もう数年すればあなたたちも卒業です。卒業式の日を、新しい進路先への希望を持って迎えらるるよう、今勉強にクラブに一生懸命取り組んでほしいと思います。

例年、多くの生徒が進路先を決めながらもなお「もっと勉強しておけばよかった」と言います。本当は満足しているのかもしれませんが、まだまだ余力を残していたことも事実なのでしょう。後輩たちに何か言いたいことはないかと尋ねると、ほとんどの生徒が「今のうちにちゃんと勉強してほしい」とか「数学で挫折しなければよかった」とか中には「テレビを捨てると言いたい」とか自分のできなかった言葉が出てくるようです。聞いている私たちにとっては、毎年だいたい同じで新鮮味はないのですが、少し悲しい言葉に聞こえます。ベストを尽くしきれなかった先輩たちはやっぱり後悔しているのでしょね。ベストを尽くすこと、これは建学の精神四大綱の一つです。ベストを尽くしきれなかったことを卒業式に嘆く生徒は、見ていて辛い。晴れやかに旅立ちながらも、心の中にいくらかの後悔の念を持っている生徒たちを見て、在校生である君たちのことを考えてしまいます。君たちは「私はベストを尽くした」と、そう言って卒業式を迎えてほしい。そう願わないではられません。

卒業式を英語で **Commencement** ということは最近よく知られてきたと思います。**commence** とは「開始する」という意味です。卒業を出発と解釈することは、とても素晴らしいことだと思います。ある期間勉強すれば、またそこから「始まる」わけです。終わりのない勉強や研究に、勇気を持って挑めと励まされているような気がします。やがて仕事を持つ日が来たら一層よくわかることでしょう。毎日のように新しいことや課題が **commence** するわけです。終わるということがありません。だとすると毎日自分に勇気を与えないと頑張りきれない。そんな日があなたにも必ず訪れます。

これから卒業生たちは様々な進路先で、仕事を持ったり勉強を続けたりするわけですが、中高の時代にベストを尽くした人はどこへ行っても大丈夫だと思います。将来の不安は、実力の養成を怠ると生まれてきます。中高の時代は実力をつける基礎となります。この基礎の時期をどう過ごすか。もう一度在校生の皆さんにはよく考えてほしいと思います。10 年後の自分を想像して今の努力をしなくては不安に駆られます。10 年後ではなくても、1 年先 2 年先に例えば入試会場へ、例えば面接の会場へ、あなたが希望を持って向かうには毎日の勉強が肝心です。どうか怠らず精進してください。あっという間にその日が来るのですから。

卒業記念号

私は毎年、卒業する生徒に同じことを言い続けています。これは私にとって真実の言葉です。Truth stands repetition.ですからね。今年も同じ言葉を贈ります。6年という長い間、本当にお疲れさまでした。これで中等教育は終わり、高等教育である最高学府での勉強が始まります。どうか頑張ってください。やがて、立派に成長した君たちにもう一度会いたいと思います。

文中に親御さんへ感謝の言葉を言いなさいと書きました。これは在校生に対しても同じことです。毎日あなたを見守る人たちに気づいていますか。

卒業おめでとう

卒業おめでとう。保護者の皆様にも謹んでお祝いとお慶びを申し上げます。また、これまでのご支援ご協力に感謝申し上げます。

生徒諸君、今日家に帰ったら何よりもまず、あなたたちは授与された卒業証書を親御さんにお見せして、きちんとお礼を言わなくてははいけません。この6年間、教育の場を与えていただいたことに対し、しっかり言葉にしてお礼を言いなさい。心からの感謝を言葉にしてほしいと思います。また、これから先、三重中高の卒業生であることは一生続きます。自分の母校を応援して下さい。頼みます。

さて、高校を卒業すると、社会に出るにせよ進学するにせよ、これまでの生活とは大きく異なり、世間も君たちをもう大人扱いすることでしょう。生活の乱れることなく自分のいる分野で精進してほしいと思います。そして実際に大人になれば自分の判断で他人の生活が左右されるような、辛く厳しい場面に立つことがあるでしょう。親御さんはいつまでも助けてはくれません。自分自身の力で、どうか勇気を持って困難に立ち向かってほしいと思います。知性を磨いて、自分で考えて、思いやりの心を持って、そして何よりも勇気を持って生きてください。自分に甘え、大人に甘え、社会に甘える若者になってほしくないのです。他人の批判には熱心だが自分の我儘には鈍感な人間になってほしくないと痛切に願います。

偉くならなくてもちっとも構わないと思っています。ただ市井の人として、そのおおらかさと誠実さとやさしさでもって君の周りにいる人たちにとって小さな、しかし温かい火を灯して生きてほしいと思います。今まで受けてきた多くの愛をこれからは君が与える番です。やがて愛する人を得て、結婚し、子をなして穏やかな家庭を持つことになるでしょう。どうか力強く、これからの人生を歩いていきなさい。苦しいことがあっても決して挫けないで下さい。それから、親孝行を忘れないように。卒業おめでとう。諸君の人生に幸多かれと願います。